

未来世代を守る仕組みづくりの実現を

原発事故被害者の救済を求める全国運動 関西集会

福島原発事故から5年、いまだ多くの方が避難生活を続けています。一方、1986年に起きたチェルノブイリ原発事故から5年後、被災者を救済するチェルノブイリ法が議決されました。それによって被災者はどう守られたのか、日本の現状はどうか、7月9日、阿倍野市民学習センターで「原発事故被害者の救済を求める全国運動・関西集会」が開かれ、専門家、支援団体、5人の避難者が登壇しました。主催は原発事故被害者の救済を求める全国運動・関西集会実行委員会。

ウクライナの大人達から子ども達へ ～5年かけて作りあげた約束

チェルノブイリ原発事故をうけて作られたチェルノブイリ法について、ロシア社会制度研究者の尾松亮さんが講演しました。その法文には、住民の安全な生活を保障する被ばく許容量は年間1ミリシーベルト、生涯70ミリシーベルトを超えないことと明文されています。その上で「移住」か「残って住み続ける」か住民自らが選択でき、被災者証を発行する国によって無期限で補償されます。具体的な内容は、恒久住宅への優先入居、雇用、引越しの一時金支給などです。これらは家族単位での補償なので、家族で話し合っ決めて決めます。地域の人を守るために地方議会が作った法律。あきらめずに日本社会でも実現したいと話しました。

5年経った日本では

現在、日本では避難指示区域の解除が進められています。除染をして年間20ミリシーベルト以下になり、道路などのインフラを整えば、国が自治体や住民と話し合った上で解除が決められます。建設インフラに税金が注がれる一方、被災者の「避難」「居住」「帰還」を選択する権利が奪われていると話すのは、国際環境NGO FoE Japanの満田夏花さん。避難者数の減少が復興のバロメーターとされ、避難支援の打ち切り、帰還促進によって避難者が追い詰められている現状を報告しました。

誰かがわたしにならないために

米や野菜も豊富で、その源の水にも恵まれたふるさとだったという浪江町からの避難者。福島第一原子力発電所から27kmのところには家があり、爆発時の空気の匂い、皮膚に感じた違和感は今でもはっきり思い出します。もう戻れない



150人規模の会場に200人を超える参加者、立ち見が出ました

とわかっていたので、位牌を持ち、神棚に詫言いで家を出ました。悔しさ、虚しさ、泣けるような寂しさ。「でも、だからといって避難は間違いではありません。この辛さは放射能の影響より大きいとは思っていません。」だからこそ、被害を知るものは声を限りに伝えなければならないと話しました。

つながって声をかたちに

居住の選択と、移動、就労などの生活における支援が保障され、国が責任を持ってそれを行うとする「子ども被災者支援法」しかし「制度として運用されておらず、避難の権利が理念として根付いていない。それによる地域・家族からの孤立が心配」と話すのは、避難者であり、主催の共同代表でもある宇野朗予さん。一人ひとりの力は小さくても、つながることのできるものがきつとあると、「避難の権利」を求める全国避難者の会を立ちあげたことを報告、会場の避難者に入会を呼びかけました。

「避難の権利」を求める全国避難者の会

Web: <http://hinannokenri.com/join>
E-mail: hinannokenri@gmail.com
TEL: 080-1678-5562 (中手)
070-5537-0478 (宇野)

問合せ 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
申込み 大阪市ボランティア・市民活動センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10
TEL: 06-6765-4041 / FAX: 06-6765-5618
Email: imonikai@osakacity-vnet.or.jp (担当: 赤星)
《利用時間》 月～金曜 9:30～20:30
土曜 9:30～17:00 (日曜・祝日及び年末年始休館)

☆情報紙 IMONIKAI は毎月1日発行です。
情報掲載希望の方は、2か月前までにご連絡下さい

東北と大阪を繋ぐ情報紙

第63号：平成28年9月

IMONIKAI

いもにがい

発行 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
大阪市ボランティア・市民活動センター
住所：〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センター内
Tel: 06-6765-4041
Fax: 06-6765-5618
協力 大阪市各区社会福祉協議会

東日本大震災

避難者のための相談会を開催

西成区南津守

大阪市西成区の公営住宅には現在、避難者23世帯(南津守第2住宅15世帯、長橋通住宅8世帯)が暮らしています。南津守社会福祉協議会がお茶会などを開催し、交流を深め、今ではすっかり地域に馴染んでいます。町会の一員として町会費を払い、地域行事にも参加・協力しています。しかし、南津守第2住宅は建て替え事業用の公営住宅で、平成29年3月末全ての世帯が立ち退きを求められています。これからも大阪に住み続けたいという声を聞いた南津守社会福祉協議会と南津守ネットワーク委員会が、7月14日、南津守福祉会館で避難者のための相談会を開きました。参加したのは、避難者11世帯14人。西成区社会福祉協議会、西成区役所、福島県大阪事務所などが協力しました。

まるっと西日本の古部真由美さんと福島県大阪事務所の山崎薫さんが、これからの支援について説明しました。宮城県の3市と岩手県の5市町は、住宅供与期間の延長を全国自治体に要請していますが、福島県は一律平成29年3月末で終了(避難指示区域を除く)。その後は民間家賃補や移転支援に移行するということ



11世帯の避難者が集まった西成区の相談会

です。「帰る人には支援があるようだが、帰られない人はどうなるのか？」という不安の声もあがりました。

また、個別相談では各々が不安や心配事を訴えました。外国籍による就労困難、子どもの進学や親の介護、「住宅支援がなくなったらどのように生活していけばいいのか」と泣きながら話す女性もいます。支援団体の一

人は、苦しい状況の相談を複数の避難者から受けていると話し、また、若い男性世帯主が、署名をたくさん集めればよいのか、家賃支援を民間住宅に限定せず、公営住宅にも適応できないかなどの要望を出しましたが、福島県の無償提供打切りは変わらないとのことでした。

平成29年4月以降は、各自治体

の独自支援に委ねられます。「今のうちに当事者が直接声をあげることが大切」と話すのは、千里すまいをたすけたい!の片岡誠さん。今後、南津守社会福祉協議会と西成区社会福祉協議会では、大阪府下避難者支援団体等連絡協議会を通じて、この相談会の声を大阪市へ届けていくことも検討しています。

五感を刺激する

みなさんは、いくつ気分転換の方法を持っていますか? 桃山学院大学、栄先生のコラム最終回です。

こころが硬くなったとき、気分転換が必要です。以下を参考に、五感を刺激してみましょう。

- ・視覚・・・空を見上げる、美しい花の写真を見る
- ・聴覚・・・自分の好きな音楽を聴く、安心できる人の声を聴く
- ・嗅覚・・・癒し系のお香や芳香剤を利用する
- ・味覚・・・チョコレートを食べる、やさしい味の飲み物を飲む
- ・触覚・・・マッサージをうける、ペットをなでる

気分転換になるものは個人によって異なります。あなたの五感を癒すものを知り、気分転換に役立ててみましょう。

桃山学院大学 社会学部 社会福祉学科 栄 セツコ

編集後記 毎日寝苦しい夜が続きます。質のよい眠りには、気温や湿度だけでなく、風のゆらぎも大事だそうです。以前は、網戸のない田舎の家だったので、毎晩開け放して蚊帳の中で寝ていました。辛い、人や動物が入ってきて襲われることはありませんでしたが、虫はよく入ってきました。ある晩、ほろ酔い気分でお風呂に行くと、大きなあわびが落ちていました。今夜のあわびはあわびだったわけ？とよく見ると、巨大な山なめくじでした。本物のあわびだったら高級品、残念と火ばさみでつかんで、ぽいっと外に放り出し、その晩も心地よく眠りました。(あかほし)

情報掲示板

お得なご招待や日々の暮らしに役立つ情報など

ご招待 2016年 NHK 大河ドラマ特別展 「真田丸」

大河ドラマ「真田丸」の主人公・真田信繁(幸村)は、大坂冬の陣で、真田丸と呼ばれる出城を作って徳川方を迎え撃ち、家康に死を覚悟させるほどの奮戦ぶりだったと伝えられています。この展覧会では、大河ドラマと連動し、国宝、重要文化財や歴史資料などの紹介を通じて、その人間像と彼が生きた時代を浮き彫りにしていきます。



大坂夏の陣図屏風 岐阜市歴史博物館蔵 江戸時代 6曲1双

※ 展覧期間：10月12日～11月6日
 会期：9月17日(土)～11月6日(日)
 9:30～17:00 (会期中金曜日は20:00まで)
 ※ 入館は閉館30分前まで

休館日：火曜日
 場所：大阪歴史博物館 6階・特別展示室
 (地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅2号・9号出口)
 ご招待：3組6人(抽選)
 締切：9月1日(木) 正午
 ※ 当選の場合は、9月3日頃に、チケットを発送します。

参加者募集! 国際交流のお祭り 「四天王寺ワッソ」

1400年前の大阪と東アジアの交流を雅やかに再現するお祭り「四天王寺ワッソ」で古代衣装に身を包み、なにわの宮をパレードしませんか?
 アジアの食が楽しめる屋台広場や、地方の特産品・アジア雑貨の販売、子ども達に大人気のふわふわ等、楽しみがいっぱい!



日時：11月6日(日) 10:30～17:00
 場所：史跡なにわの宮跡 (地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅10号出口より 徒歩2分)

参加費：無料
 申込み：NPO法人 大阪ワッソ文化交流協会
 ※ 詳細はチラシをご覧ください。
 ※ ワッソHPからも登録可能です。http://wassonet
 問合せ：☎06-6371-8703 (担当：杉山)
 ※ 「IMONIKAIを見た」とお伝えください。
 締切：9月16日(金) 午前中
 ※ 登録後、案内状で連絡させていただきます。

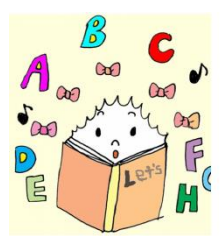
ご招待 へのお申込みは...

大阪市ボランティア・市民活動センター (担当：赤星)
 (電話・メールにて。全員の名前・住所・TELを添えて)

どしどし 応募してね!

ご案内 英語スキルアップのチャンス! 「Free English Cafe」

「日本のこと、海外でどう報道されているのかな?」「海外に発信したい!」「この英語の文章読みたい!」... 大学で英語の教鞭を取っていた先生が教えてくれます。避難者も支援者も、オープンにつながる場です。



日時：7月22日(金)、8月19日(金)、9月9日(金)
 13:00～17:30 (途中入退場可)
 13:00～15:00 Free English Cafe
 15:00～17:30 自由学習・情報交換
 場所：SMBC コンシューマーファイナンス株式会社 梅田お客様サービスプラザ (阪急三番街 南館地下1F)

参加費：無料
 申込み：不要 (定員15人)
 問合せ：東日本震災避難者の会 Thanks&Dream
 【英語で話し隊】係 ☎ sandori2014@gmail.com
 ※ 詳細はチラシをご覧ください。

ご招待 モンスターハンターミュージアム in 大阪文化館・天保山

ハンティングアクションゲーム『モンスターハンター』シリーズの企画設定資料・武器・看板娘の衣装など約500点を展示します。
 また、モンハンの世界観を体験できる「トリックビジョン」では、まるで「ライゼクス」の攻撃を受けたような写真を撮ることができます。



会期：7月16日(土)～8月28日(日) 会期中無休
 10:00～17:00 (入館は閉館30分前まで)
 ※日曜日7月18日(月祝) 8月11日(木祝)は18:00まで開館
 場所：大阪文化館・天保山 (海遊館となり)
 (地下鉄中央線「大阪港」駅 1番・2番出口より 徒歩約5分)
 ご招待：3組6人(抽選)
 締切：8月19日(金) 正午
 ※ 当選の場合は、8月19日頃に、チケットを発送します。

方言の交差点

—東北弁と大阪弁が出会う場所—

暑いと、冷たい飲み物が欲しくなります。レーコーは、そんな飲み物です。
 レーコーは、アイスコーヒーのことです。アイスコーヒーは、つめたいコーヒー。それを漢字にすると、冷たいコーヒー。レーコーの「レー」は「冷」の音読み。「コー」は「コーヒー」の略。
 レーコーは、大阪の方言として知られていますが、若い世代は使わなくなっています。授業で聞いたところ、全体

冷たい珈琲

の1割しか知りませんでした。知っていても使わないというのが学生たちの声です。レーコーは、消滅の危機にある方言と言えるかもしれません。
 さて、ここで質問です。コーヒーに入れる白い液状のものは何と言いますか? ミルク? クリーム? それとも、フレッシュ? 実は、ここにも気づかない地域差があります。フレッシュは、主に関西での言い方。商品名が、一般的な呼称として関西に定着したようです。

【方言募集】 ※方言に関するご質問・ご意見をお寄せください。
 住所：〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 追手門学院大学
 E-mail: yukushib@otemon.ac.jp
 追手門学院大学国際教養学部講師 柳引祐希子

交流会 8月 Cafe IMONIKAI & 避難者ぴあサポート交流会のご案内

午前中はCafe IMONIKAI、午後はピアサポート交流会の2部構成で開催している交流会。8月のぴあサポート交流会はお休みです。途中参加、途中退室は自由。当日参加も大歓迎です。

保育予約締切：8月16日(火)
 ※子どもの名前、年齢を添えて。
 問合せ・申込み：peimonikai@gmail.com
 ※名前・連絡先、大体の予定時間を教えてください。

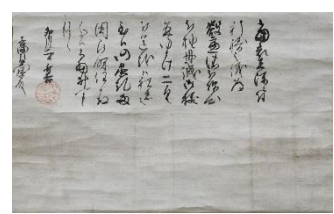
日時：8月23日(火) 10:30～15:00
 10:30～15:00 『Cafe IMONIKAI』 (同室保育)
 ※ 8月の避難者ぴあサポート交流会はおやすみです。
 ※ 昼食は各自でご用意ください。

場所：大阪市立社会福祉センター 3階
 (地下鉄「谷町九丁目」駅、近鉄「大阪上本町」駅11番出口)

主催：ドーン避難者ピアサポートの会 協力：東日本震災避難者の会 Thanks & Dream (ジェンダー平等をめざす藤枝淳子助成事業)

ご招待 特集展示「蔵出し名品展 2016」

大阪歴史博物館では、大阪の歴史と文化において幅広い分野にわたる約10万点の史資料を収集してきました。中には、日本の歴史・文化全般にかかわる貴重なものも含まれています。今回は、そのうち普段あまり展示する機会のない優品を選びすぐって紹介します。



豊臣秀吉朱印状(しゅいんじょう) 天正13年(1585)4月2日付

会期：8月3日(水)～10月3日(月)
 9:30～17:00 ※入館は閉館30分前まで
 休館日：火曜日
 場所：大阪歴史博物館 8階・特集展示室
 (地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅2号・9号出口)
 ご招待：3組6人(抽選)
 締切：9月1日(木) 正午
 ※ 当選の場合は、9月3日頃に、チケットを発送します。

ご招待 スターウォーズ展 未来へつづく、創造のビジョン。

映画製作で実際に使用されたコンセプトアートや衣裳、小道具、世界初公開作品など150点を通して、スター・ウォーズの世界を様々な角度から紹介します。



会期：7月16日(土)～8月30日(火)
 10:00～20:00 (入館は閉館30分前まで)
 休館日：7月25日(月)
 場所：あべのハルカス美術館 (あべのハルカス 16階)
 (近鉄「大阪阿部野橋」駅 または JR地下鉄「天王寺」駅より すぐ)
 ご招待：3組6人(抽選)
 締切：8月19日(金) 正午
 ※ 当選の場合は、8月19日頃に、チケットを発送します。